

# 「総合目録—図書中級」 第1回

## 問題例集 <抜粋>

### I. 目録の基礎

図書中級も図書初級と同様に、全体が5つの分野に分かれています。

まずはじめに、和図書・洋図書に共通の、書誌を作成する際に必要な基礎知識に関する設問群です。おもに『目録情報の基準』と『目録システムコーディングマニュアル(以下コーディングマニュアル)』から出題されており、今回はすべて文章の穴埋めで、解答方法は四者択一方式でした。

問16～問21はALフィールドに関する文章ですが、ここではその中から問16～問19について紹介します。なお、この部分の問題は『目録情報の基準』(4.4著者標目形の管理)から出題されています。

・次の文章を読んで以下の問16～21に答えなさい

【a】のために、ALフィールドを使用する。  
目録作業時には、記述対象資料の著者標目に対応する著者名典拠レコードを作成し、著者名リンクを形成することができる。ただし、対応する著者名典拠レコードが既に作成されている場合は、リンク形成のみを行う。  
リンク形成を行うとALフィールドには、リンク先著者名典拠レコードのレコードIDが表示される他、さらにリンク先著者名典拠レコードの【b】が表示される。これによって、【c】が統一されることになる。リンク形成を行わない場合、『目録情報の基準』8の条項に従いつつ、ALフィールドに【d】を記録する。  
ALフィールドには、必要に応じて、会議の回次等を記録する。  
また、【e】の標目であることを示す【f】フラグとしてアスタリスク(\*)を記録することもできる。

#### 問16

【a】に入る最も適切なものを選びなさい。

- ① 著者の記述
- ② 著者名のヨミの検索
- ③ 著者名典拠コントロール
- ④ 同姓同名著者の生年月日確認

#### 問17

【b】に入る最も適切なものを選びなさい。

- ① 著者
- ② 著者の生年月日
- ③ 著者名のヨミ
- ④ 統一標目形

#### 問18

【c】に入る最も適切なものを選びなさい。

- ① 生年月日の表記形
- ② 著者
- ③ 著者標目の形
- ④ 著者名のヨミ

#### 問19

【d】に入る最も適切なものを選びなさい。

- ① 著者
- ② 著者の生年月日
- ③ 著者標目形
- ④ 著者名のヨミ

### II. 書誌作成・和図書

次に、和図書の書誌レコードを作成する場合に必要な知識を問う設問群です。おもに『コーディングマニュアル』の「第2章 和図書書誌レコード」と『日本目録規則』から出題されています。

#### 問35

ある小説がフランス語で刊行された後、英語に翻訳され刊行された。さらにその後、その英語版を日本語に翻訳したものが刊行された。この日本語版の図書の書誌について、ORGLフィールドに入るコードとして最も適切なものを選びなさい。

- ① fre
- ② eng
- ③ jpn
- ④ freeng
- ⑤ mul

#### 問41

TRフィールドのデータ要素の情報源であるものには①を、そうでないものは②を、それぞれ選びなさい。

標題紙裏

### III. 総合・和図書

第3分野は、和図書に関する、より実践的な設問群です。情報源から各フィールド要素を適切に読み解く力があるかを問っています。実務に携わっている方が多く受験されたせいか、全般的に高得点でした。

・図3-2の図書の書誌を新規に作成することになった。

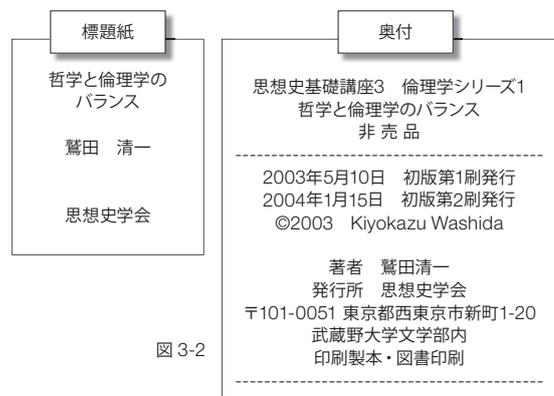


図 3-2

- ・思想史基礎講座1  
世界思想史の系譜
- ・思想史基礎講座5 倫理学シリーズ2  
ドイツ倫理学の現在

(参考)

- 書誌を新規に作成する場合、図3-2の情報源にある各データのうち、問80～82に挙げる内容をどのフィールドで記述するのが最も適切か、それぞれ選択肢から選びなさい。

**問80**

「哲学と倫理学のバランス」

- ① VOLフィールド
- ② TRフィールドの本タイトル
- ③ TRフィールドのタイトル関連情報
- ④ PTBLフィールドの親書誌
- ⑤ PTBLフィールドの中位の書誌

**問83**

図3-2の図書について、PUBフィールドの記述として最も適切なものを選びなさい。

- ① 東京：思想史学会，2003.5
- ② 東京：思想史学会，2004.1
- ③ 東京：思想史学会，c2003
- ④ 西東京：思想史学会，2003.5
- ⑤ 西東京：思想史学会，2004.1

**IV. 書誌作成・洋図書**

第4分野は、洋図書の書誌レコードを作成する場合に必要な知識を問う設問群です。おもに『コーディングマニュアル』の「第4章 洋図書書誌レコード」と『英米目録規則』(AACR2) から出題されました。

**問106**

情報源にある "INTRODUCTION A L'ETUDE DU DROIT CIVIL" を本タイトルとする場合、TRフィールドの記述として最も適切なものを選びなさい。

- ① Introduction a l'etude du droit civil
- ② Introduction a l'étude du droit civil
- ③ Introduction à l'etude du droit civil
- ④ Introduction à l'étude du droit civil
- ⑤ Introduction â l'étude du droit civil

**問113**

情報源にある "by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard, G.R. Redgrave" を責任表示とする場合、TRフィールドの責任表示の記述として最も適切なものを選びなさい。

- ① by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard, G.R. Redgrave
- ② by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard ... [et al.]
- ③ by Walter Allen, Michael Slater, A.W. Pollard [... et al.]
- ④ by Walter Allen ... [et al.]
- ⑤ by Walter Allen [... et al.]

**V. 総合・洋図書**

最後に、洋図書に関する、より実践的な設問群です。情報源と書誌を見比べて、記述が正しいかどうかを判断する問題などが出題されています。

**問131**

図5-1の情報源にもとづいたALフィールドの記述として、最も適切なものを選びなさい。

- ① AL:Wälde, Thomas
- ② AL:Werner, Jacaques  
AL:Ali, Arif Hyder
- ③ AL:Werner, Jacaques  
AL:Ali, Arif Hyder  
AL:Wälde, Thomas
- ④ AL:Wälde, Thomas  
AL:Werner, Jacaques  
AL:Ali, Arif Hyder
- ⑤ AL:Wälde, Thomas  
AL:Werner, Jacaques, Ali, Arif Hyder



- 図5-4の図書について、書誌を新規に作成してみたが（書誌5-4）、いくつか修正すべき間違いがある。問134～問141に挙げるフィールドのうち、修正すべき箇所には①を、そのまま良い箇所には②を選びなさい。（ただしリンクフィールドのリンク先は正しいものとする。）

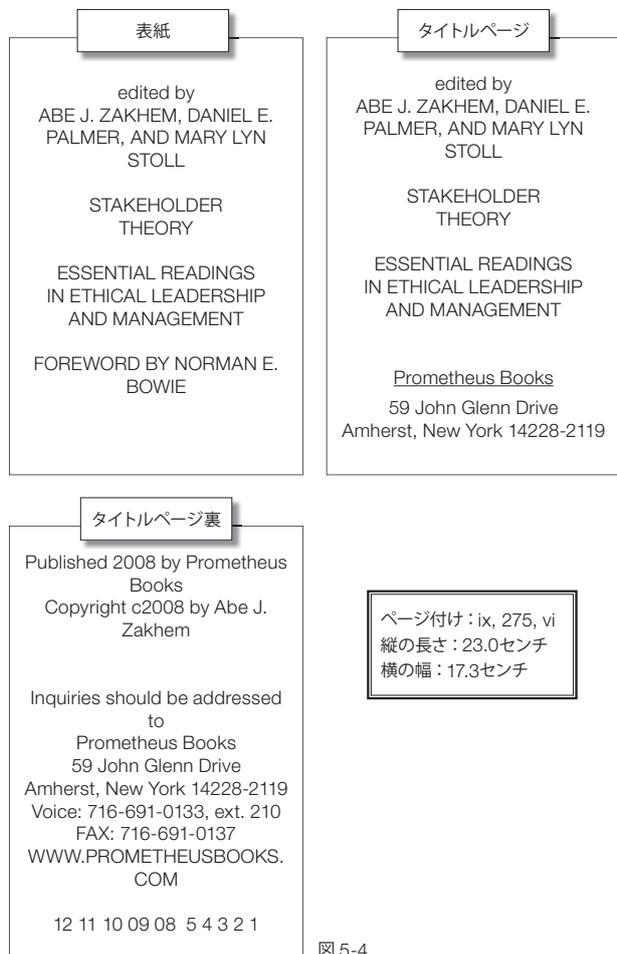


図 5-4

GMD: SMD: YEAR:2008 CNTRY:us  
 TTL:eng TXTL:eng ORGL:  
 ISSN: NBN: LCCN: NDLN:  
 REPRO: GPON: OTHN:  
 VOL: ISBN: PRICE: XISBN:

TR:Essential readings in ethical leadership and management / ed. by Abe J. Zakhem ... [et al.] ; foreword by Norman E. Bowie  
 PUB:New York : Prometheus Books , c2008  
 PHYS:ix, 275, vi p. ; 23 cm  
 VT:CV:ESSENTIAL READINGS IN ETHICAL LEADERSHIP AND MANAGEMENT  
 AL:Zakhem, Abe J. <...>  
 AL:Bowie, Norman E. <...>

書誌 5-4

### 問138

PUBフィールドの出版年

(解答は、10ページをご覧ください。)

# 「総合目録—雑誌初級」 第2回

## 問題例集 <抜粋>

○×で解答する二者択一方式です。

### I. 総合目録の概要

「概要」部分については、おもに国立情報学研究所主催・目録システム講習会テキスト雑誌編（以下『講習会テキスト』）の「1 目録システム概論」、「2 目録情報の基準」および『目録情報の基準』（以下『基準』）の「1 総合目録データベースの概要」、「2 総合目録データベースの構造」から出題されています。

#### 問2

NACSIS-CATの書誌レコードを用いてNACSIS-ILL 依頼レコードを作成できるようになっている。

### II. 各レコードの特徴

おもに、『講習会テキスト』の「2.目録情報の基準」と、『基準』の「8. 著者名典拠レコード」から出題されています。

#### 問44

所蔵レコードの巻次 (HLV)は、書誌レコードのVLYRフィールドに記述された表現形式にあわせる。下記のレコードに対して「平成22年版」を登録する場合、資料に元号及び西暦年が併記されていたとしても、「HLV: 2010」とはしない。

VLYR: 平成3年版 (平3)-

### III. 検索の仕組みと書誌の同定

検索の仕組みについては、『基準』の「11.3 ヨミの表記及び分かち書き規則」と『目録システム利用マニュアル』の「付録C インデクス作成仕様」について、又、書誌の同定については、『講習会テキスト』「2.目録情報の基準」の「雑誌書誌レコードの作成単位」についての理解を問うています。

#### 問46

TRフィールドに記述された責任表示は、TITLEKEYの検索対象とはならない。

#### 問52

TRフィールドの本タイトルに「四次元」を持つ資料を検索する場合に、「TITLE=4ジゲン」は正しい検索キーである。

## > 問16

正解：③ 正答率：77.7%

単に著者を記述したり(選択肢①)、著者名のヨミを検索する(選択肢②)だけであればリンクフィールドである必要はありません。また、同姓同名の著者を生年月日で区別することはありますが、その確認のため(選択肢④)にALフィールドを使用するわけではありません。複数の書誌レコードから1つの典拠レコードにリンクして、典拠をコントロールするためにALというリンクフィールドを使用します。

## > 問17

正解：④ 正答率：82.5%

①の「著者が表示される」、というのは文章としてつながりません。②の著者の生年月日と③の著者名のヨミも表示されることはありませんが、典拠レコードに記入されていない事もありますので、正解とは言えません。

最後に残った④は、全ての典拠レコードをリンクした場合に成立しますので、こちらが正解です。

## > 問18

正解：③ 正答率：92.2%

これは正答率も高く、易しかったようです。子書誌に個別に記入するのではなく、リンク先のレコードに記入されている標目が表示されるのですから、標目の形が統一される事になります。

## > 問19

正解：③ 正答率：68.0%

問18とは逆に、この問19は正答率が低かったです。著者名典拠レコードをリンクしない場合でも、ALフィールドには資料中表示されている形ではなく、著者標目形を記入します。資料中の表示のままを転記するTRフィールドの責任表示と混同しないようにしましょう。

①の「著者」を記録する、というのは大筋で間違っていないですが、どのように記述するかについては触れられていません。②の著者の生年月日と④の著者名のヨミは常に記入するわけではありませんので、③の著者標目形が最も適切と考えられます。

## > 問35

正解：② 正答率：69.9%

資料中に原テキストのオリジナルタイトル(この問題ではフランス語タイトル)が表示されていても、訳者あとがきなどに「〇〇の英語版を翻訳したものである」などと記載されている事があります。その場合はORGLフィールドには、直接翻訳対象となった資料の言語コードを記入する事になりますので注意しましょう。(『コーディングマニュアル』2.1.9 ORGL)

## > 問41

正解：① 正答率：52.4%

洋図書では『AACR2』により、タイトルページとタイトルページ裏とでは情報源としての重みが異なりますが、和図書の場合は標題紙と標題紙裏とは同じ扱いとなります。つまり、標題紙が情報源だけれども標題紙裏は情報源ではない、というフィールドはありません。(『コーディングマニュアル』2.2.1E [データ要素の情報源])

## > 問80

正解：② 正答率：98.1%

書誌階層がありそうな情報源の表記を見て、どの部分をどのフィールドに記述するか、という問題です。最下位の書誌単位がどれであるか、最上位はどれか、に注意して情報源を読み解きましょう。(『基準』4.2 記述対象のとらえ方、4.3 記述対象のレコード上での表現方法)

## > 問83

正解：④ 正答率：85.4%

PUBフィールドの出版地の記述の仕方です。間違えた方のほとんどは①東京を選択していました。東京の特別区は「東京」と記入しますが、東京都でも市については市名を記入します。実際の作業においても、東京で発行された図書が大部分なので、「東京」の文字が目に入ったらつい「東京」と記入してしまいがちです。特別区なのか市なのかまで意識して確認するようにしましょう。(『日本目録規則』2.4.1.2)

## > 問106

正解：④ 正答率：15.5%

今回の試験で全150問のうち、最も正答率が低かった問題です。TRフィールドは転記の原則によって、単語を省略したりせずに記述しますが、大文字使用法とアクセント符号付きアルファベットについては、その言語の正書法に基づいて適切な形に修正して記述します。(『AACR2』1.1B1、A4A、1.0G)

## > 問113

正解：④ 正答率：63.1%

同一の役割の責任表示が4人いますので、最初の1名だけを記入し、他は省略します。(『AACR2』1.1F5)

なお、省略した責任表示は、和図書ではNOTE注記に記述するよう『コーディングマニュアル』(2.2.1F3.4)に規定がありますが、洋図書にはその規定はありません。

## > 問131

正解：② 正答率：58.3%

記念論文集の被記念者の扱いについての設問です。図の目次を見ると被記念者であるThomas Wäldeの著作は収められていませんので、ALフィールドに記入する事はできません。(『コーディングマニュアル』4.3.2H)

## > 問138

正解：① 正答率：73.8%

出版年が情報源上に表記されていればそれを出版年として記述し、出版年がなくて著作権表示年が表示されている場合には、たとえば“c2008”のように記述します。

この問題では、タイトルページ裏に“Published 2008 by Prometheus Books”と表示がありますので、PUBフィールドの出版年は“2008”となります。(『AACR2』1.4F1、1.4F6)